



かけはし

令和7年 1月 8日
東久留米市立第三小学校
校長 町田 元彦
学校ホームページ
<http://www.higashikurume-school101.jp/~dai3-e/>

教育目標 ○よく考える子 ○なかよくする子 ○元気のよい子

笑顔の力

校長 町田 元彦

新年明けましておめでとうございます。新しい年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。本年も教職員一同、力を合わせ、良い一年にしていきたいと思っております。

今年は巳年ですが、「乙巳（きのと・み）」です。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味しており、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているようです。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組み、成長と結実の年にしたいものです。

さて、冬休みが終わり子供たちの元気な「笑顔」が学校に戻ってきました。朝、笑顔で「おはようございます。」と挨拶をしてくれる子供が多く、こちらも自然と笑顔になり、元気をたくさんもらいました。

子供たちの笑顔は、何物にも代えがたい宝物です。保護者の皆様も、これまでの子育ての中で、何度もお子さんの笑顔に幸せを感じたり、癒されたりしてきたのではないのでしょうか。

「笑顔」については医学的にも様々な研究が進み、体の免疫力がアップする、脳の働きが活性化する、血行が促進される、自律神経のバランスが整う、筋力がアップする、幸福感を味わう、鎮痛効果がある、等の効果が報告されています。また、多くの方が、笑顔の時に100メートル走のタイムが上がり、投球の球速が上がったという実験結果もあるといわれています。

「楽しいから笑う」という発想を逆転させて、「笑うから楽しい気分になる」効果を「顔面フィードバック」というそうです。また、笑顔の人の楽しげな様子を見ることで、反射的に笑顔になる「つられ笑顔」は、集団全体のストレスを少なくし、場の雰囲気をととても良くするといわれています。

『笑う門（かど）には福来たる』という言葉も、「笑顔でいるから楽しくなる」ということを表しています。「門」とは家とか家族という意味ですが、家庭なら家族みんなで、学校なら友達や教職員と一緒に笑えるといいですね。一人で笑うのもいいですが、みんなで一緒に笑うことでさらに相乗効果となり、心も体も健康になったり、ますます元気になったりすることでしょう。

日々の生活に追われていると、なかなか笑顔になれなかったり、お子さんや家族の短所ばかりに目が行って叱ってばかり、注意してばかりになったりすることが多いかもしれません。しかし、それではイライラばかりが募り悪循環になります。努めて明るい話をしたり、一緒にお笑い番組を見て大笑いしたりするのもいいですね。

家でも学校でも、いつもにこやかに笑って過ごせれば、自然と幸せに包まれます。第三小学校が、今年も、子供たちが笑顔で通える学校、教職員が笑顔で子供たちや保護者の皆様と向き合える学校であってほしいと願っています。

本年も保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

